東京工業大学理学部物理

へのアプローチ

6.	固体結晶中での正ミューオンの量子拡散	嶋	田	大	介
7.	自己回避的制限を加えた様々なウォークの成長	友	塚	新	樹
8.	層状三角格子磁性体 $\mathrm{MnX}_2(\mathrm{X=I},\mathrm{Br})$ の逐次相転移と磁気	増	田	浩	次
	構造				
9.	チオ尿素における整合-不整合相転移の研究	丸	Щ	秀	文
10.	アモルファス $\mathrm{Si}_{1-x}\mathrm{Au}_x$ 系における金属-非金属転移近傍の	山	崎		博
	電子状態の研究				

1. 高分解能電子顕微鏡 Planview 法, Profile 法による清浄表面及び吸着表面の研究

五十嵐 信 行

電子顕微鏡内で MoS₂ の下地に Au やAg を蒸着すると、下地の [100] 方向の縁から飛び出して成長した粒子は、通常の (111) 方位の他に、(100) 方位や (110) 方位の異常方位を持つことを見いだし、これが格子整合から説明されることを明らかにした。これらの粒子は方位が揃っており、その像が下地の影響を受けないため、清浄表面や吸着表面の高分解能観察の試料に適している。これを用い、Planview 法で、Au (111)・22×1 再配列表面の構造を初めて直接観察し、構造に対する知見を得た。また、Au (100) 面、(110) 面の清浄表面再配列構造に対応した像を得た。Cu/Ag、Au/Cu (100) 吸着表面についても観察した。Profile 法で、蒸着中の Au 粒子の成長や、蒸着後の電子線照射による粒子表面の構造の変化を観察した。

2. ランダムスピン系におけるフラストレーションの効果

石川一彦

スピングラスの相転移は、ランダム性とフラストレーションに支配される。フラストレーションは相互作用の競合によって起こり、種々のボンドが混合したランダムな系では、相互作用